土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　三篠川　災害復旧助成事業に係る詳細設計業務（その３）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　河川　構造物基礎

ボーリング名	その3-4	調査位置	広島市安佐北区白木町	北緯	34° 33’ 55.4600”
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 7月15日～ 令和2年 7月16日	東経	132° 39’ 41.4900”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 125.65m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1型
総削孔長	8.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-10	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度 (m)	原位置試験 試験名及び結果	削孔月日
1				砂礫	GS-Cs	暗褐	rd3		礫はφ5～50mm程度の亜円礫～亜角礫で、一部φ80mm程度の玉石を含む。 砂は細砂でシルト分を含有する。	7/15 1.70	0 10 20 30 40 50 60	27	1.35	10	8	9	27/300			1.35	P-1	⊖	物理的			
2	123.60	2.05										32	1.65 2.15	9	9	14	32/300			1.65 2.15	P-2	⊖	物理的			
3					SMG				細砂～中砂、マサ土状の砂質土である。 礫はφ2～40mm程度及び風化礫を混入する。一部岩片状の礫を含む。			41	2.45 3.15	13	13	15	41/300			2.45 3.15	P-3	⊖	物理的			
4				礫混り砂質土	SCsG	褐	rd4		全体にはシルト分を混入する。			44	3.45 4.15	13	15	16	44/300			3.45 4.15	P-4	⊖	物理的			7/15
5	120.15	5.50			SCsG							50以上	4.45 5.15	17	33/80		50/180	180		4.45 5.15	P-5	⊖	物理的			
6				砂礫	SCsG	褐	rd5		礫はφ5～50mm程度の亜角礫で、所々に風化礫を混入する。 砂は細砂～中砂でシルト分を含有する。マサ土状の砂質土である。			50以上	5.33 6.15	20	30/60		50/160	160		5.33 6.15	P-6	⊖				
7	118.15	7.50										50以上	6.31 7.15	33	17/40		50/140	140		6.31 7.15	P-7	⊖				
8	117.65	8.00		玉石混り砂礫		濃灰	rd5		6.7～6.95m間は礫の混入少ない。 100m程度の玉石を混入する。玉石間はφ5～20mm礫を混入する砂である。			50以上	7.29 8.00 8.03	50/30			50/30	30		7.29 8.00 8.03	P-8	⊖				7/16
9																										
10																										
11																										